

外国人留学生のための日本の伝統文化体験研修(有田・唐津)の実施報告



11月9日(土)に当財団主催の有田の伝統工芸焼き物づくり体験と唐津城見学会を実施しました。今回は九州大学、西南学院大学、福岡大学、福岡教育大学等の留学生約20名と福岡県留学生サポートセンターのスタッフも参加して、朝9時に博多駅をバスで出発、まずは佐賀県の有田ポーセリンパークに向かいました。ポーセリンパークでは、有田焼工房に入って全員手びねりによる陶芸の体験研修を行いました。

留学生達は、数名の指導員のもとで各人に材料が手渡され、自分の好きな形の茶碗やグラスを作り、お互いに作品の出来栄を比べたりしながら焼き物づくりに没頭していました。完成した作品は窯で焼いた後に2ヵ月ほどして財団に送られてきたので全員に手渡しました。焼き物体験の後は宗政酒造「有田蔵」やパーク内を見学することができました。

ポーセリンパークの見学の後は九州の小京都とも呼ばれる唐津に移動、唐津城を見学しました。唐津城は東西に広がる松原が両翼を広げた鶴のように見えることから、「舞鶴城」とも呼ばれているお城で、天守閣から眺める玄界灘と虹の松原の雄大な景観と城下町唐津の景色に留学生達はあちこちで歓声を挙げたりカメラのシャッターを切っていました。

以下の写真はその体験研修の様子です。



有田ポーセリンパークの有田焼工房内



パーク内のツヴィンガー宮殿前にて



唐津城の天守閣の前での集合写真



唐津のゆるキャラと一緒に集合写真